

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

November 2015
Vol. 39
毎月10日発行

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

勉強の合間の気分転換に・・・ マンガのすすめ

高木 秀章(塾長)

すっかり秋が深まってきました。今回は読書の秋にふさわしく？勉強の合間の気分転換にお薦めのマンガを2つ紹介したいと思います。一つは『キングダム』(原泰久著)ともう一つは『おーい亀馬』(作画小山ゆう、原作武田鉄矢)。有名な作品ですのでもう読まれた方もたくさんいらっしゃると思います。

これらは、史実をモデルとして編集されたフィクションですが、子供達に歴史への興味の目を開かせるに十分な魅力があります。物語は主人公を中心に様々な登場人物達が作り上げる大筋の物語と、それぞれの登場人物ごとの物語が絡み合いながら構成されています。物語全体を理解するには読解力だけではなく、人物や国々との相互・相関関係を理解する力が必要です。このように史実がベースとなり、且つ複雑な構成こそがこの2つのマンガの最大の面白さでもあります。

『キングダム』の舞台は春秋戦国時代(B.C.771～B.C.221)中国。三国志の時代よりもさらに昔です。後に秦の始皇帝となる政が中国を統一するまでの物語ですが、それを、一兵卒の信という主人公の成長を追いかけながら描かれています。私達読者は、成長していく信に感情移入することで、作品の世界に深く入ることができます。このキングダムには多くの実在した武将達が出てきます。とにかく彼らの生き様がかっこいい。ついつい、どの人物が好きかを話し合いたくなってしまう。また、戦争の描写も丁寧で、軍略やまた、部隊の大きさによって役割が違うことも、主人公の信と共に知ることができます。この作品の魅力は始皇帝からではなく、一兵卒の信の目線に彼の立身出世と合わせ、中国統一を見ていくところにあると思います。各巻には人物相関図が書かれていますが、それを読み人物名を覚えないと人間関係を見失ってしまう。そういう所にも『キングダム』の面白さがあるように思います。

もう1つの作品『おーい亀馬』は少し古いですが有名な作品です。坂本龍馬の33年間の生涯をモデルにした作品です。もちろん坂本龍馬と言えば薩長同盟や大政奉還で有名ですが、その偉業を成し遂げるまでに龍馬が様々な人達との出会いと別れの中で成長していく様が丁寧に描かれています。また、それを通じて当時の人々の暮らし、身分差別から抜け出そうとする悲痛な思い、志を持った若者達の躍動感などを感じ取れる作品です。

ただし、性的描写や、時代背景的に人が斬り殺されるなど暴力的描写があることを保護者の方に理解していただき、お子様の年齢にも配慮した上で、薦めていただく必要はあります。私的には性的描写に関しては、神聖な行為として配慮されており、暴力的描写に関しては、身分の低い人の命を命とも思わない差別や時代の恐ろしさを学ばせるために必要な部分だと考えています。

これら2作品の内容は、中学の歴史教科書では、「秦の始皇帝が中国を統一」「坂本龍馬・中岡慎太郎の働きで薩長同盟が結ばれる」というわずか一文で済まされますが、その一文の中に、様々な人達の想い、英知、情熱、そして人間ドラマが隠されています。それらを大人・子供を問わずに夢中で読ませる力がこれらの作品に宿っているのは、作者のリアリティー追及のための史実に対するしっかりとした調査と、フィクションとしての物語に魅力と深みを与える妥協ない創造性にあると思います。また、これらはマンガであるが故に視覚に訴え、世代を超えて楽しめ、理解できる「優れた読み物」だといえます。

是非、一度、これらの作品をご家族で読み、それらを話題にして会話を楽しんでみてください。子供達の記憶力や理解力がいかに優れているかに驚かれることと思います。そして、その保護者の方の反応が、子供達の興味の輪をさらに大きく広げる原動力となっていきます。

そのようなご家庭での知的好奇心が広がる親子の会話こそ、文科省が提唱する新たな学力観である、自分の意見をまとめ表現する「活用力」を伸ばす最良の方法ではないかと私は思います。今回は、マンガを題材にしましたが、同じことが映画やテレビ番組、美術館や博物館の見学など様々なことと言えらると思います。子供達の視野を広げるという意味でも、是非チャレンジしていただけたらと思います。



『キングダム』



『おーい亀馬』





CLASSROOM REPORT 教室レポート

そろばんで育てたい
「やり抜く力」

川西 久志 (今福教室)



秋も深まり、紅葉の季節となりました。古市教室では入門から段位の生徒達まで、日々検定合格を目標に元気一杯、練習しています。新しい入門生も秋から増え、次世代を担う小さな子達も頑張っています。たまに、保護者の方とお話をしていると、「うちの子真面目にやっていますか?」「態度はどうですか?」と心配される方もいらっしゃいますが、ご心配には及びません。古市生はみんな真面目で元気です。もちろん、調子に乗り先生に注意されることはありますが、それは元気な証拠です。いざ、そろばんとなると、真剣にやってくれています。また、子供達はそろばん指導の合間で私達に最近あったことや、褒められたことや怒られたこと、中には将来の夢を教えてくださいました。

そんな、屈託のない子供達の姿を見ていると、決して今の子供達が「元気がなく」「冷めている」なんてことは一切ないと思います。

子供達のタイプは様々ですが、進級するために大事なことは、ご家庭で一日一枚(30分ほど)もしくは10分でも練習することです。ここで注意ですが、必ず練習と間違い直しはセットで行うようにしてください。間違えた箇所は、指使いが間違っています。そのままにしておくと、間違えた指使いを覚えてしまいます。必ず間違いを直して、正しい指使いで練習を終了して下さい。

そのような日々の練習の積み重ねにより必ず進級が早まります。進級したら嬉しいですよ。しかし、進級が難しい級もあります。難しくてもあきらめずに取り組んでほしいと

思います。難しい時ほど粘り強く努力を続けることは、皆さんの将来にとって、とても大切です。先生も現在そうなのですが、大人になると難しい課題が山積みです。しかし、どんなに難しくてもあきらめずに取り組み続けられれば、必ずいい結果は生まれます。先生は、そろばんを通じて是非そのことを皆さんに学んで欲しいと思います。

一生懸命という言葉がよく使われますが、先生はこの言葉を「決してあきらめずにやり抜くこと」と解釈しています。先生達も、もちろん皆さんの「やり抜く気持ち」に負けないように指導していくつもりです。

生徒の皆さんがそろばんを通じて、計算力や集中力を高めながら、何事も「やり抜く」強い人に育ってくれればと願っています。



Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

受かる受からないの心配よりも、 目の前にある、やるべきことに精一杯 取り組む姿勢が大切

岡本 泰行 (今津教室)

秋も深まり、少し肌寒くなってきました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。少し肌寒くなってくると「いよいよか。」という気持ちになります。そうです！中学3年生の皆さんは受験に向けてあと数か月です。居残りの時間が少しずつ質問ラッシュになってきました。塾の先生になって10年ほど経ちますが、毎年この時期になると、身が引き締まり、1年の集大成に向けて、あとひと踏ん張りという気持ちになります。

では、受験生の皆さんに一言。今津教室にもずっと貼っているのですが、「受験校に受かるレベルなのかそうでないのかに関わらず、受験をするにあたって、勉強を怠ることは許されない」入試は人生の大きな分岐点です。今この時期に、受かる受からないの心配をするのではなく、目の前にある、やらなければいけないことに精一杯取り組んでください。

また、これもよく私が言うことなのですが、「行きたくない高校や、大学に行っても3・4年我慢すればいいのですが、やりたくもない仕事を40年我慢するのは耐えられない」と。どういうことかと申しますと、高校・大学は3・4年で卒業し、全く別の環境に変わります。しかし、仕事は22歳で働き出したら、定年が65歳くらい。

そうすると、43年間も仕事をするわけです。こんなにも長い期間やりたくもない仕事はやってられません。やはり、「楽しい、やり甲斐がある」などの感情が沸くような仕事ではないと続かないと思います。ですから、将来のなりたい自分・やってみたい仕事に就くために高校入試は大切な分岐点です。行きたい高校に入学し、そこで良い経験を積み、人間的に大きく成長して、将来なりたい自分を実現してほしいと思います。

ではここで、気を付けてほしいことを数点お伝えします。

1. 体調管理

これは、当たり前のことです。体調が万全ではないと何事も精一杯取り組めません。インフルエンザの予防接種も忘れずに。

2. 色々なことに手をつけない

精神的に落ち着かない日々が続きますが、だからと言ってあれやこれや、色々な問題集に手を出しても意味がありません。自分がこれだ、もしくは先生達がアドバイスしている問題集や過去問題

集を隅から隅まで徹底的にやり切るようにしてください。

そうすると自然と質問は増えてきます。しっかり質問する生徒は伸びる。これも先生の今までの経験から言えることです。

3、一喜一憂するのではなく常に本番の2月・3月を意識しておくこと
11月、12月、1月と模擬テストや、学校のテストが続きます。テストの点が良かったり悪かったりと色々心情の変化があると思います。ですが、それに流されているようではいけません。皆さんの全力を出す時は入試本番です。テストが悪ければ「次のテストを頑張ろう。」とすぐに切り替えてください。だから、確固たる目標を持つことが非常に大切です。わかっているとは思いますが、公立を目指している人は内申点が重要です。学校のテストは万全の準備をして臨んでください。

保護者の方へ

入試が近づくこの11月は、テストが多く、1年の内で最も生徒達の気持ちが不安定になる時期です。学校では、成績の事があり、塾では大きなプレッシャーがかかる授業が続き、朝から夜まで、心休まる暇がない時期が続きます。ですから、家だけは心が安らぐ空間作りをしていただけたらと思います。今、子供達は大きな訓練を乗り越えようとしています。精神的に不安定な時期が続きますが12月に私立の受験校が決まると、心が落ち着くと思います。それまで、どうかよろしく願いいたします。

中学3年生のみんなは、これからライバル同士になります。「みんながやるからやる。」「みんなが帰るから帰る。」ではなく、「自分が必要ならやる。」「自分が必要ではないのならやらない。」常に自分は今、どうあるべきなのかを考えて行動することです。これから先は、とても大変な時期です。しんどいと思ったときは、必ず、塾で周りの人を見てください。その子達もしんどいはずですが、自分だけはと思わないこと。来年の4月に自分の思っていた制服を着ることができるようにもうひと踏ん張りです。



COLUMN

先生紹介 ▶ 須田 圭子 (諸口教室)



こんにちは、諸口教室の須田です。秋本番！行楽スポーツ・読書と楽しい季節。私は何といても食欲の秋！先日、あまり大阪には流通していない「ナイアガラ」(見た目は小粒のマスカット)というブドウを口にしました。箱入りで頂いたのですが、独特な香りで一粒食べてみると酸っぱい！正直、

腐っているのでは?と思っていたのですが、ネットで検索したら、大変デリケートな食べ物で長時間長距離の生食では希少なブドウだと知りました。それだけでなく食べ方も独特で果肉と果汁をチュウっと吸い出すように舌の上に出し甘みと香りを楽しんでから、かまずにゴクン!と飲み込みます。はじめはなかなかスムーズにはいかなかったのですが、何粒かでスルスルゴクン!とできるようになり、甘み・香りを味わうことができました。機会があれば是非ご賞味ください。

さて、諸口教室も運動会・遠足・文化祭の話をそろばんの各部で聞くことができます。低学年は行事が続き少々お疲れ気味ですが、高学年は中心となって活動しているので活気があふれています。一部は春からスタートした生徒もそろばんになって、パチパチと音が出るようになってきました。二部三部は教室でのお友達同士が得点の競争をし

ていて「よっしゃー」という声、「うわあ、負けたあ」という声があちらこちらでしています。五点でも多くとるような気持ちではじてください。四部は上級、段位検定に向けて猛練習中で、「はじめ」の合図でパチパチ音の合奏がスタートします。自分との闘いが力強い音を出しており、いい結果が出ると思っています。やはり「継続は力なり」です。頑張ってください。体調に気を付けて旬を食し、お腹を満たし、芸術(パチパチの音)に触れて、心を満たし、秋の夜長を楽しみましょう。



ナイアガラ



福井の ちょっと イイ話

TEACHER'S VOICE 福井 幸司 (関目教室)

関目教室で主に算数・数学を担当しています福井です。

長年、塾講師一筋で働いてきましたが、カイチに仲間入りをしてまだ4カ月の私が、強く関心を持っているのが「パスカルキッズ」での指導です。

最初の7分間は読書の時間です。原則集中して黙読させます。楽しい物語を好む子供が多いのですが、子供達が何を感じ、どう理解しているのかを確認するために「この人はどんな人?」、「どうしてこんなことをしているの?」と尋ねてみることもします。そうすると、子供達は目を輝かせてたくさん話します。この時に心掛けているのは「聴く」ということです。よほどの誤読がないかぎり、訂正しません。あくまでも現在の読解力と、子供達に関心を示すことがポイントです。子供達は関心を持つことによってヤル気を出すということに、多くの場面で気付かされます。

次に「5行日記」というものを書きます。ネタの

ある日は喜々として書いていきますが、ネタに困る日は大変!

そういう時はこちらから話しかけ、子供達に記憶をたぐらせ、ネタを発見させます。「何もない」と思い込んでいた日に良い日記を書けたときは、本当に嬉しそうにしますし、こちら褒めます。こうして自信をつけていくと、最初は給食の献立ばかり書いていた子が、とてもおもしろい日記を書くように成長していきます。時には5行をオーバーし、裏面までびっしりと文字で埋まった「大作」を書くことも!

その後、算数を中心としたテキストでの指導に入りますが、「実感して納得する」ことを重視しています。例えば「10から1けたの数を引く」指導をするには、「10がどんな数の組み合わせでできているか?」を実感させることが重要です。そのために「お金タイル」や「積み木」を使い、見て、触って、数の大きさの違いを感じ取ってもらうわけです。

「パスカルキッズ」の指導を通じて、子供達

は知らないことに挑戦し、できることが増えていくことを楽しんでいることが分かります。そして、それをサポートするために必要なことは「管理ではなく関心」だと感じています。

カイチの「パスカルキッズ」の強みは、高校受験を指導する講師が参加している点。カイチの先生は幅広い年齢層の生徒の指導に当たっていて、その年齢に適した指導に長けています。私も早くカイチの先輩先生に追いつきたいと努力しています。また「パスカル」で得た経験を、中学生の指導にも活かしていければと思っています。

その最初の一步は、中学生のみんなに楽しく勉強していた頃を思い出してもらうこと。そのために、分かりやすい授業を提供し、管理だけではなく、関心を示して指導していきます。



カイチからのお知らせ

- 11月10日(火)・11日(水)は期末模擬テストを実施します。
 - 11月15日(日)は中学3年生対象の五ツ木模試が実施されます。
 - 12月12日(土)は珠算競技大会を実施します。代表に選ばれたみんなは教室の代表として頑張ってください。
 - 11月は受験生にとって大切なテストが続きます。体調管理をしっかり行いながらテスト勉強を頑張ってください。
- <受験生を持つ保護者の皆様へ>
11月はテストが続き、精神的に不安定になる生徒達も出てくる時期です。心配やご相談があります時は、遠慮なく各教室にご相談ください。